

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成21年9月3日 (2009.9.3)

【公表番号】特表2009-505973(P2009-505973A)

【公表日】平成21年2月12日 (2009.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-006

【出願番号】特願2008-525637(P2008-525637)

【国際特許分類】

C 0 7 C 233/81 (2006.01)

C 0 7 D 307/58 (2006.01)

A 6 1 K 31/341 (2006.01)

C 0 7 D 307/56 (2006.01)

C 0 7 D 213/70 (2006.01)

A 6 1 K 31/44 (2006.01)

C 0 7 D 307/91 (2006.01)

A 6 1 K 31/343 (2006.01)

C 0 7 D 307/44 (2006.01)

C 0 7 D 307/54 (2006.01)

C 0 7 D 263/56 (2006.01)

A 6 1 K 31/423 (2006.01)

C 0 7 D 409/12 (2006.01)

A 6 1 K 31/443 (2006.01)

A 6 1 K 31/192 (2006.01)

A 6 1 P 15/08 (2006.01)

A 6 1 P 15/06 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 27/06 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 P 19/10 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 11/08 (2006.01)

A 6 1 P 19/08 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

A 6 1 P 15/10 (2006.01)

A 6 1 P 1/02 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 C 231/12 (2006.01)

C 0 7 C 257/18 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 233/81 C S P

C 0 7 D 307/58

A 6 1 K 31/341

C 0 7 D 307/56

C 0 7 D 213/70

A 6 1 K 31/44

C 0 7 D 307/91  
 A 6 1 K 31/343  
 C 0 7 D 307/44  
 C 0 7 D 307/54  
 C 0 7 D 263/56  
 A 6 1 K 31/423  
 C 0 7 D 409/12  
 A 6 1 K 31/443  
 A 6 1 K 31/192  
 A 6 1 P 15/08  
 A 6 1 P 15/06  
 A 6 1 P 27/02  
 A 6 1 P 27/06  
 A 6 1 P 29/00  
 A 6 1 P 37/02  
 A 6 1 P 19/10  
 A 6 1 P 11/06  
 A 6 1 P 11/08  
 A 6 1 P 19/08  
 A 6 1 P 37/08  
 A 6 1 P 15/10  
 A 6 1 P 1/02  
 A 6 1 P 1/04  
 A 6 1 P 13/12  
 A 6 1 P 17/06  
 A 6 1 P 43/00 1 1 2  
 C 0 7 C 231/12  
 C 0 7 C 257/18

## 【手続補正書】

【提出日】平成21年7月17日(2009.7.17)

## 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

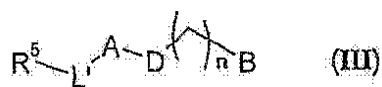
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式(III)：

【化 1】



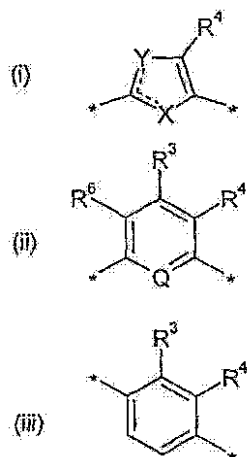
[式中、

R<sup>5</sup>は、置換されていてもよいC<sub>5-20</sub>アリールまたはC<sub>4-20</sub>アルキル基であり；

L'は単結合、-O-または-C(=O)-であり；

Aは、

## 【化 2】



からなる群より選択され、そこにおいて、

XおよびYは、OおよびCR<sup>3</sup>；SおよびCR<sup>3</sup>；NHおよびCR<sup>3</sup>；NHおよびN；OおよびN；SおよびN；NおよびS；ならびにNおよびOからなる群より選択され、点線は適切な位置における二重結合を示し、QはNまたはCHのいずれかであり；

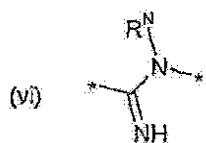
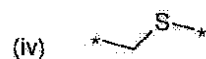
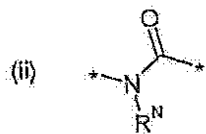
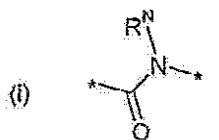
R<sup>3</sup>は、H、F、Cl、および置換されていてもよいC<sub>1-4</sub>アルキル、C<sub>1-4</sub>アルコキシ、C<sub>5-7</sub>アリールおよびC<sub>5-7</sub>アリール-C<sub>1-4</sub>アルキル基から選択され；

R<sup>4</sup>は、H、F、Cl、および置換されていてもよいC<sub>1-4</sub>アルキル、C<sub>1-4</sub>アルコキシ、C<sub>5-7</sub>アリールおよびC<sub>5-7</sub>アリール-C<sub>1-4</sub>アルキル基から選択され；

R<sup>6</sup>は、H、F、Cl、および置換されていてもよいC<sub>1-4</sub>アルキル、C<sub>1-4</sub>アルコキシ、C<sub>5-7</sub>アリールおよびC<sub>5-7</sub>アリール-C<sub>1-4</sub>アルキル基から選択され；

Dは、

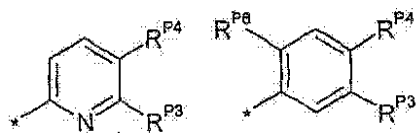
## 【化 3】



から選択され；

Bは、

## 【化 4】



からなる群より選択され、

$R^{P6}$ はフッ素および塩素から選択され；

$R^{P3}$ および $R^{P4}$ の一方が $-C_m$ アルキレン- $R^2$ であり、 $R^{P3}$ および $R^{P4}$ のもう一方がHである場合、 $m$ および $n$ は0または1であり、かつ $m + n = 1$ または2であり；さらに $R^{P3}$ が $-C_m$ アルキレン- $R^2$ である場合、 $m$ は2または3であってもよく、かつ $m + n = 1, 2, 3$ または4であり、 $R^2$ がテトラゾール-5-イルである場合、 $m + n$ は0であってもよく；

または、 $R^{P3}$ および $R^{P4}$ の一方が $-O-CH_2-R^2$ であり、 $R^{P3}$ および $R^{P4}$ のもう一方がHである場合、 $n$ は0であり；

$R^N$ はHまたは置換されていてもよい $C_{1-4}$ アルキルであり；

$R^2$ は、

(i)  $-CO_2H$ ；

(ii)  $-CONH_2$ ；

(iii)  $-\text{CH}_2-\text{OH}$  ; または  
 (iv) テトラゾール-5-イル  
 のいずれかである]

の化合物、またはその塩、溶媒和物及び化学的に保護された形。

【請求項 2】

$\text{R}^5$  が  $\text{C}_6$  アリール基である、請求項1に記載の化合物。

【請求項 3】

$\text{R}^5$  がフェニルである、請求項2に記載の化合物。

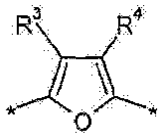
【請求項 4】

$\text{L}'$  が単結合である、請求項1～3のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項 5】

Aが、

【化 5】



である、請求項1～4のいずれか1項に記載の化合物。

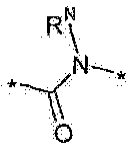
【請求項 6】

$\text{R}^3$  および  $\text{R}^4$  が H である、請求項5に記載の化合物。

【請求項 7】

Dが、

【化 6】



である、請求項1～6のいずれか1項に記載の化合物。

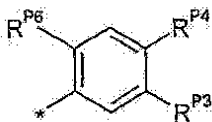
【請求項 8】

$\text{R}^N$  が H である、請求項7に記載の化合物。

【請求項 9】

Bが、

【化 7】



である、請求項1～8のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項 10】

$\text{R}^2$  がカルボキシである、請求項1～9のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項 11】

$\text{R}^{\text{P}4}$  が H であり、 $\text{R}^{\text{P}3}$  が  $-\text{CH}=\text{CH}-\text{R}^2$  である、請求項1～10のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項 12】

$n$  が 0 である、請求項1～11のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項 13】

治療の方法に使用するための、請求項1～12のいずれか1項に記載の化合物またはその製薬上許容される塩。

## 【請求項 14】

請求項1～12のいずれか1項に記載の化合物またはその製薬上許容される塩を、製薬上許容される担体または希釈剤と共に含む医薬組成物。

## 【請求項 15】

EP<sub>2</sub>受容体の作動により緩和される状態を治療するための、請求項1～12のいずれか1項に記載の化合物またはその製薬上許容される塩を含む医薬組成物。

## 【請求項 16】

EP<sub>2</sub>受容体の作動により緩和される状態が、月経困難症、早期陣痛、緑内障、高眼圧症、免疫障害、炎症性疾患、骨粗鬆症、ぜんそく、慢性閉塞性肺疾患、アレルギー、骨疾患、骨折修復、男性機能障害、女性機能障害、不妊症、歯周病、胃潰瘍、腎臓病および乾癬から選択される、請求項15に記載の医薬組成物。